

編集後記

リポジトリ公開のみの『京都芸術大学大学院紀要』第2号を刊行いたします。
本学大学院生の研究成果を世に問う論文集です。

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止のためのさまざまな制限が断続的にある中、4月28日のエントリー票提出締め切り時に18件の申請があり、その後3件は著者により取り下げられました。7月16日の論文提出締め切りまでに15件が紀要委員会に届き、各論文は学内外の専門家2名の査読を経て、結果13件が公開されることになりました。博士課程に在籍する1年生から3年生の論考です。

本学大学院博士課程には理論研究のみを行う学生と理論研究及び制作研究を行う学生がおり、博士号取得にはどちらも学位申請論文の提出が課せられています。本紀要に掲載された論文の多くは学位申請論文の一部となっていく研究成果です。

皆さまにご高覧いただき、参考にしていただくとともにご批判を賜りますようお願いいたします。

2021年11月1日

京都芸術大学大学院芸術研究科 芸術専攻（博士課程）専攻長
京都芸術大学大学院紀要委員会編集長
河上眞理